

令和5年度 第1回北広島市上下水道事業経営審議会

日 時：令和6年1月17日（水）10時00分～11時20分

場 所：北広島市役所5階 委員会室

出席者：（委 員）

高橋会長、檜山副会長、齊藤委員、田中委員、原口委員、吉岡委員（6名）
（事務局）

人見水道部長、藤本水道部次長兼水道施設課長、中田経営管理課長
笹原下水道課長、坂井経営管理課主査、名和経営管理課主任
五十嵐経営管理課主任（7名）

≪議事概要≫

1 開会（10時00分）

2 委嘱書交付

3 市長挨拶

4 委員挨拶

5 会議成立報告

事務局：委員の半数以上出席により、会議成立を報告

6 会長及び副会長の選出

高橋委員を会長、檜山委員を副会長に選出

7 会長及び副会長の挨拶

高橋会長及び檜山副会長より挨拶

8 議事録署名委員の指名

高橋会長より檜山副会長を指名

9 報告案件

(1) 北広島市上下水道事業の概要について

事務局より説明

(質疑応答・委員からの意見等はなし)

(2) 水道事業経営戦略進捗管理・取組状況報告（令和4年度末時点）について

事務局より説明

〈質疑応答・委員からの意見等〉

委員 A：資料2の1ページ目の表の有収率の項目について、年々低下していることから水道管の老朽化などが原因であると考えているが、この有収率の改善見込みはあるのか。

事務局：令和4年度の有収率は、前年比0.7ポイント減の86.2%となっている。要因としては、Fビレッジ地区のエスコンフィールド北海道開業に向け、水道管の大規模な洗管作業を実施したことであり、一過性の原因も含んでいると分析している。

(3) 下水道事業経営戦略進捗管理・取組状況報告（令和4年度末時点）について

事務局より説明

〈質疑応答・委員からの意見等〉

委員 B：資料3の5ページ目について、現ストックマネジメント計画を策定した令和元年度時点と比較し、管や材料費等が高騰していると思われるが、その影響

や見通し等があれば伺いたい。また、今後も物価上昇傾向が見込まれるが、現段階における見通し等があれば伺いたい。

事務局：近年の傾向としては、管材等の価格の高騰や労務単価の上昇により工事費の増加が見受けられる。また、資材の確保や処理場施設の電気設備、機械設備の更新に必要な半導体の確保が難しくなっている影響で、今までは1年で終えられた工事が1年半、2年間必要となるといった、工期が長期化する傾向にある。

委員 C：資料3の2ページ目にあるウォーターPPPについて、導入に向かう背景や狙いについて伺いたい。

事務局：まず、ウォーターPPPとは官民連携のうち、民間事業者に更新も含めた運営を任せるコンセッション方式に加え、民間業者へ委託している維持管理の中に更新計画、もしくは、更新工事も含め一体的に管理する「管理・更新一体マネジメント方式」のことである。レベル4に位置づけられるコンセッション方式に段階的に移行していくために、その前段階としての位置づけで管理・更新一体マネジメント方式のレベル3.5が新設された。本市においても現在、処理場施設にかかる維持管理について、包括で民間委託を行っているが、その中に更新計画、もしくは、更新工事も含めることを目指すレベル3.5の導入を検討していく。また、令和9年度までにレベル3.5までを導入決定することが、国の補助金の交付要件となっている。

10 その他

事務局：能登半島地震にかかる対応状況の報告、今後のスケジュールについての説明

11 閉会（11時20分）

以上、会議のてん末を記録し正確を期するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

議事録署名委員 _____